

# 財政用語メモ

## 【当初予算】

4月1日から翌年3月31日までの1年間に、市にお金がいくら入ってくるか（歳入）、そしてそのお金をどんなことに使うのか（歳出）、年間の計画を立てたものです。予算は大きく次の3つに分けられています。

### ①【一般会計】

地方公共団体の会計の中心。福祉や教育、建設など、一般的な事業に使われており、町の事業の大部分を占めています。

### ②【特別会計】

特定の事業を行うために使われるもの。それぞれの目的に応じて、一般会計とは別に独立して運営されています。

### ③【企業会計】

経費をその事業の経営に伴う収入でまかなうものです。

## 【一般財源】

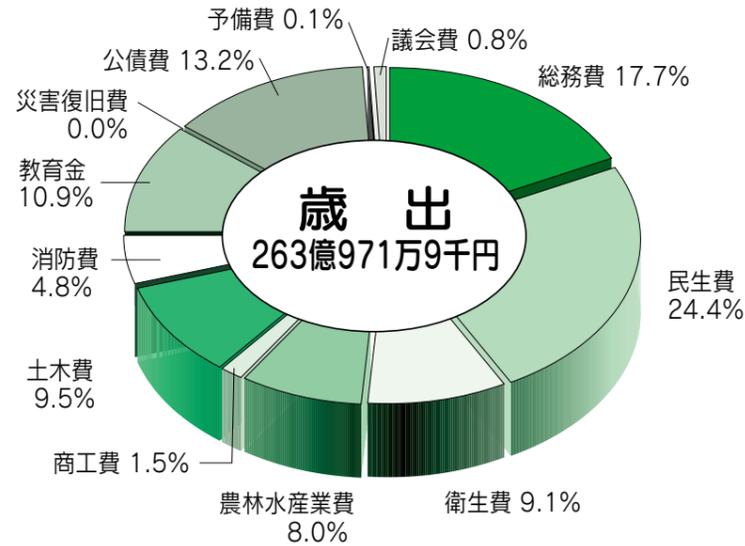
税金・地方交付税等で、財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるものです。

## 【歳入】

- 市税…市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 交付税等…地方交付税、利子割交付金など、国や県に入る税金の一部が市に交付されるもので、特に用途は限定されていないもの
- 市債…市の借金
- 国県支出金…特定の目的をもった費用に充てるために国または県が市に支出する補助金や委託金など
- 繰入金…基金（市の貯金）や他の会計からの繰入金
- 分担金および負担金…工事や福祉に関する受益者の負担金など
- その他…財産収入、寄付金、繰越金、諸収入、使用料および手数料

## 【歳出】

- 議会費…議会運営のための経費
- 総務費…市の全体的な管理に必要な費用
- 民生費…福祉や保育などにかかる費用
- 衛生費…ごみを処理する費用
- 農林水産業費…農道、漁港の整備や営農の活性化などにかかる費用
- 商工費…商工振興や観光事業の経費
- 土木費…道路を作ったり補修する費用
- 消防費…消防救急にかかる費用
- 教育費…学校や生涯学習などにかかる費用
- 災害復旧費…災害復旧のための経費
- 公債費…市の借金を返済する費用
- 諸支出金…主に他会計への補助金や繰出金



一般会計歳出集計表

区分	18年度	17年度	増減
議会費	221,572	428,923	▲207,351
総務費	4,645,518	3,063,243	1,582,275
民生費	6,411,504	6,677,901	▲266,397
衛生費	2,383,964	2,404,661	▲20,697
農林水産業費	2,103,177	2,006,127	97,050
商工費	398,031	388,960	9,071
土木費	2,496,022	2,108,789	387,233
消防費	1,272,136	940,384	331,752
教育費	2,870,162	2,087,949	782,213
災害復旧費	3,106	3,435	▲329
公債費	3,478,527	3,382,318	96,209
予備費	26,000	22,000	4,000
計	26,309,719	23,514,690	2,795,029

## ■会計別集計表

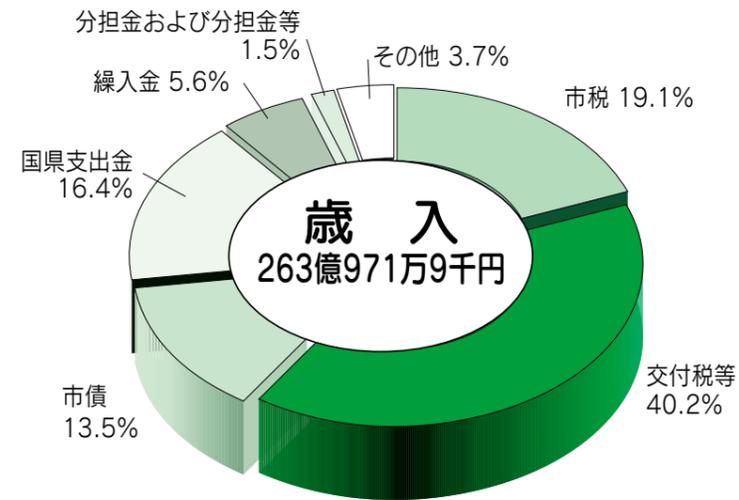
宇城市には、一般会計と7つの特別会計（国民健康保険、老人保険、介護保険、奨学金、簡易水道、農業集落排水、公共下水道）、そして2つの企業会計（水道、病院）があります。

区分	18年度	17年度	増減
国民健康保険事業	7,202,701	7,052,629	150,072
老人保健事業	6,615,189	7,593,740	▲978,551
介護保険事業	4,752,000	4,776,000	▲24,000
奨学金事業	17,949	7,341	10,608
簡易水道事業	263,943	255,158	8,785
農業集落排水事業	218,518	195,743	22,775
公共下水道事業	2,030,929	2,059,810	▲28,881
水道事業	1,878,906	1,836,256	42,650
病院事業	524,922	502,588	22,334
計	23,505,057	24,279,265	▲774,208

一般会計歳入集計表

(単位:千円)

区分	18年度	17年度	増減
市税	5,035,050	4,959,265	75,785
交付税等	10,572,900	10,556,100	16,800
市債	3,564,700	1,857,000	1,707,700
国県支出金	4,303,719	3,371,194	932,525
繰入金	1,481,141	1,544,134	▲62,993
分担金及び負担金	381,611	470,467	▲88,856
その他	970,598	756,530	214,068
計	26,309,719	23,514,690	2,795,029



一般会計では17年度に比べ

# 約28億円の増

税などの自主財源に乏しい市の財政は、地方交付税や国県支出金への依存度が高いため、国県の動向に影響を受けやすくなっています。

三位一体改革により急速に財政が硬直化する中、18年度予算は、合併による合理化と事務事業の見直しによる経費削減を図る一方、健康づくり対策や庁舎・支所・小学校・幹線道路の整備、企業誘致、駅前開発計画などを盛り込み、前年比27億9502万9千円増の263億971万9千円と、積極予算となっています。

しかし歳入の財源面では、一般財源が対前年比11%の減になっているものの、市債（借金）の発行や繰入金（預金取崩）に大きく頼っており、次年度以降、さらなる行財政のスリム化が求められます。市では基本的な生活基盤の安定、福祉、教育などの施策に支障を来さないよう、財源と支出の調整を図り、行財政の健全安定化に努めていきます。

## 市の財政事情

平成18年度の一般会計と特別会計、企業会計の予算が3月定例会で可決されました。宇城市でこれから取り組むさまざまな事業に使われる、平成18年度予算のあらましについてお知らせします。

# 「予算」